Panasonic®

施工説明書
取扱説明書
保管用

コンパクトスクエア(一般屋内用) リモコン自己点検機能付

〈 点滅形避難口誘導灯(電池内蔵型) 〉(壁埋込型)

品番 FA20300[B級・BL形 一般定格型] FA20310[B級・BL形 長時間定格型]
FA40300[B級・BH形 一般定格型] FA40310[B級・BH形 長時間定格型]

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず電気工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

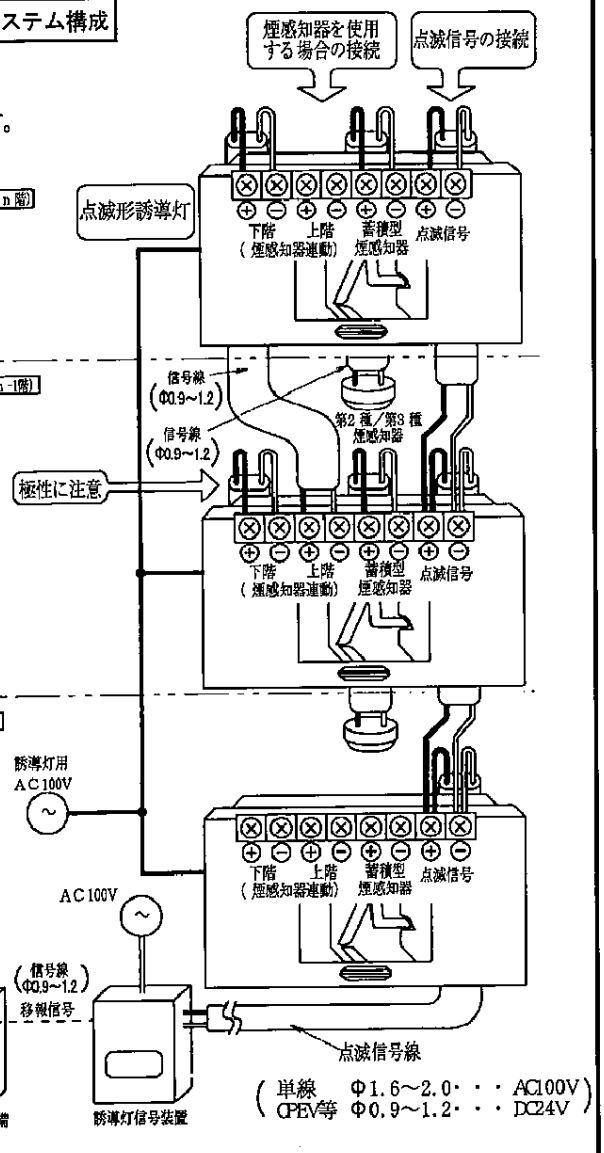
⚠警告

●施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。
●器具を改造しない。火災・感電・落下の原因となります。
●断熱材、防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。
●壁埋込専用です。指定以外の取付はしない。火災・感電・落下の原因となります。
●表示された電源電圧(定格電圧±6%)・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると火災・感電の原因となります。
●蓄電池を、短絡・分解等しない。火災・破裂・感電・やけどの原因となります。

⚠注意

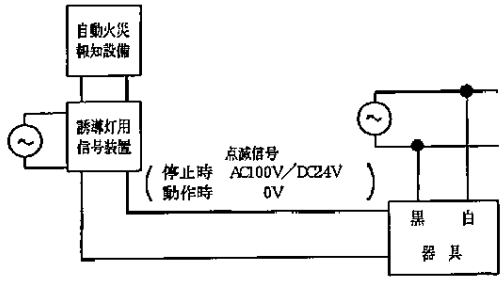
●この器具は一般屋内用器具です。雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
●周囲温度は、5 ～35℃以内で使用してください。
指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化及び非常点灯しない原因となります。
●この器具の電源は誘導灯専用回路にしてください。
●この器具は常時、連続点灯して使用してください。
常時、消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。
●この器具は必ず自動火災報知設備との連動をとった誘導灯用信号装置と組合わせてご使用ください。守られないと正しい避難誘導ができません。
●24時間充電後、非常点灯の確認をしてください。
電池は設置後通電し、充電しないと点灯しません。
●電源穴・取付穴を通じて外部から水気・湿気が入る可能性のある場合には、器具取付後、電源穴・取付穴のすきまを防水シール材等で埋めてください。
防水処理が不完全な場合、浸水による感電・火災の原因となります。

システム構成

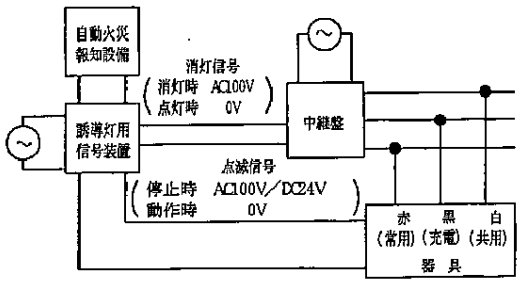


配線種類

・常時消灯しない場合



・常時消灯する場合の例



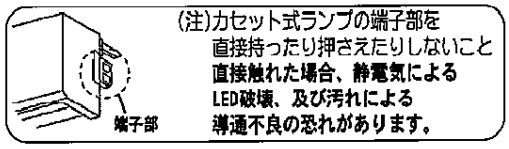
(器具の赤色短絡線を取り外す)

取説No. FA20300-T3

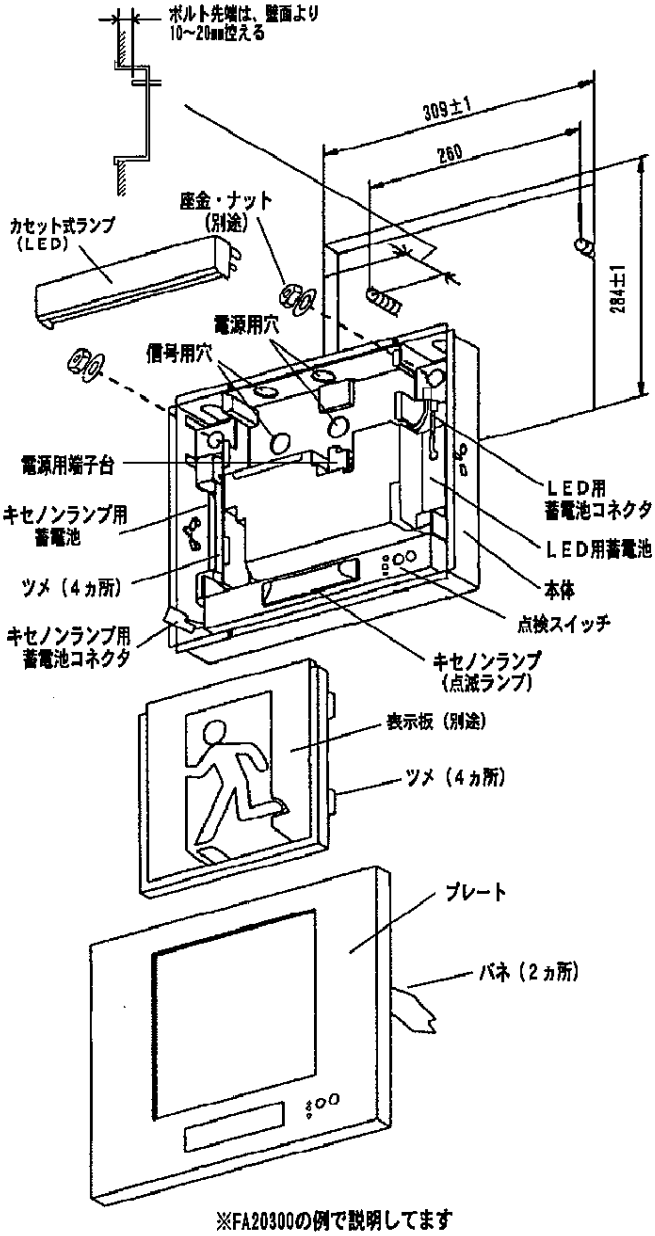
各部のなまえと取付けかた

⚠警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。



(注)カセット式ランプの端子部を
直接持ったり押さえたりしないこと
直接触れた場合、静電気による
LED破壊、及び汚れによる
導通不良の恐れがあります。



※FA20300の例で説明してます

適合表示板	FK20000 FK20005 FK20006 FK20007 FK20008

適合取付ボックス	FK21712

※取付ボックスを使用時は取付ボックスの
施工説明書を参照してください。

1. 取付前の確認

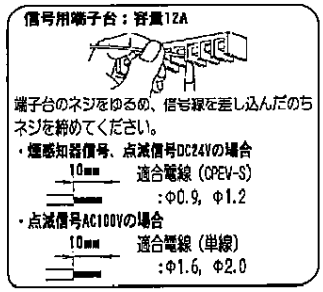
・器具質量：4kgに十分に耐えるよう取付ボルト取付部の強度を確保する。
（取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。）
不備があると器具落下の原因となります。
・電池に貼り付けている青いテープをはがしてから施工してください。

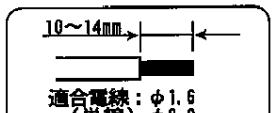
2. 本体の取付

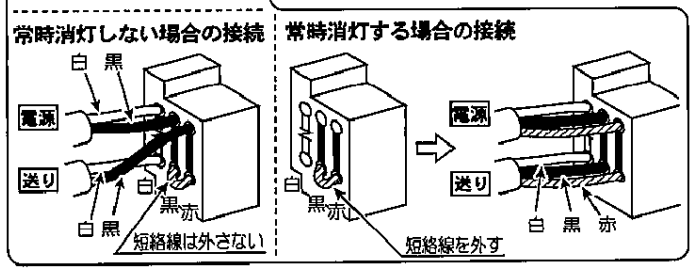
・電源線を電源用穴・信号線を信号線用穴から引き込んでおく。
・本体を確実に取付ける。
（注）本体取付方向は、点検スイッチを右下側にして取付けてください。
取付に不備があると落下の原因となります。

3. 電源線、信号線の接続

・電源線・信号線を確実に接続する。
・端子台の容量は12Aです。
接続が不完全な場合や
容量オーバーの場合、
感電・火災の原因となります。

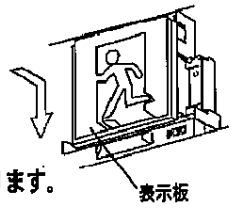






4. 表示板の取付

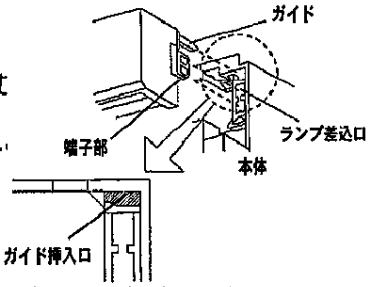
①表示板のツメが本体のツメ（4ヵ所）の
上側にくるように合わせる。
②表示板を下側にスライドさせて取付ける。
注）避難方向に表示板の表示方向を
合わせてください。
取付に不備があると表示板落下の原因となります。



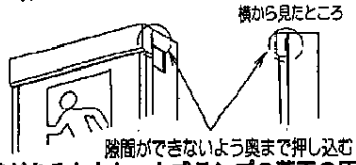
5. カセット式ランプの取付

①カセット式ランプを
本体のランプ差込口にはめ込む

注1）カセット式ランプ端子部を持たないこ
注2）ガイドをガイド挿入口に入れながら
カセット式ランプをはめ込む



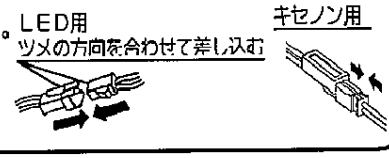
②カセット式ランプをカチッと音がするまで奥に押し込む



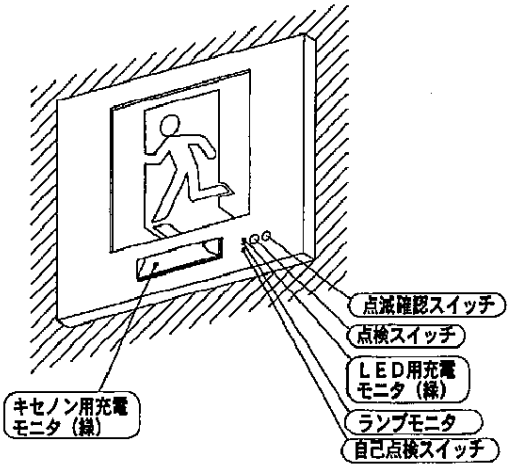
取付に不備があるとカセット式ランプの落下の原因となります。

6. 蓄電池コネクタの接続

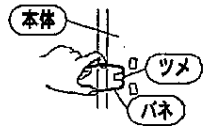
・コネクタを確実に接続する。
接続が不完全な場合、
非常点灯不良の原因と
なります。



各部のなまえと取付けかた（続き）



7. プレートの仮取付



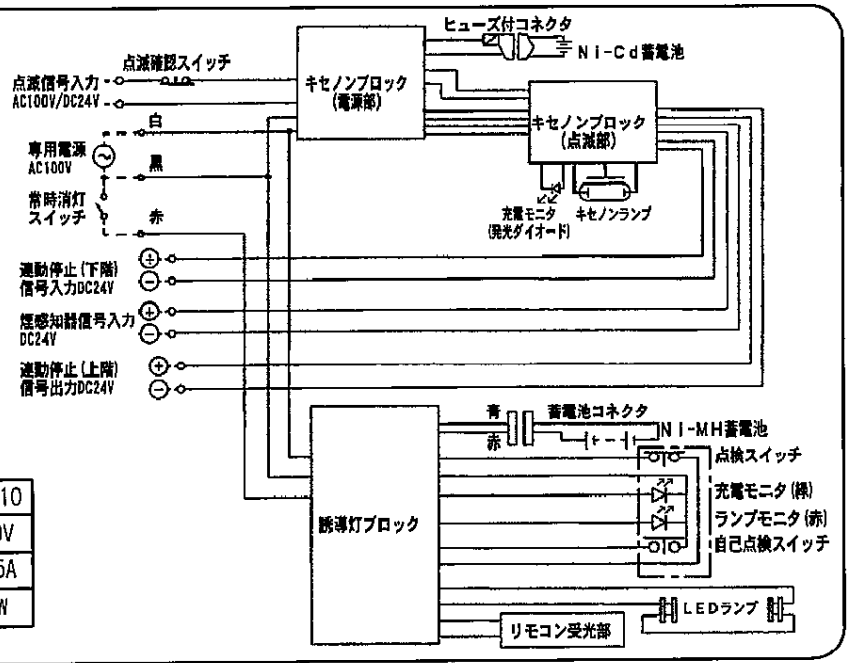
①本体のツメにバネを引っかける。
②プレートを確実に、本体にはめ込む。
取付に不備があるとプレート落下の原因と

8. 点灯確認・点滅確認

・電源通電状態でランプおよび各モニタランプの状態を確認する。
正常状態 充電モニタ（緑）は点灯
ランプモニタ（赤）は消灯
・電源通電状態で点検スイッチを押し、非常点灯確認をする。
（点検中、充電モニタ（緑）は消灯）
・点滅確認スイッチを押し、非常点滅を確認する。
（点検中、キセノン用充電モニタは消灯）
電池は設置後通電し充電しないと非常点灯・点滅しません。
正常に動作しない場合は（故障かな？と思ったときは）を参照してください。

器具定格・接続図

接続図（常時消灯する場合）
※図は、一般定格型です。



定　格

品　番	FA20300	FA40300	FA20310	FA40310
定格電圧	AC100V	AC100V	AC100V	AC100V
入力電流	0.066A	0.083A	0.069A	0.085A
入力電力	4.3W	5.3W	5.1W	6.1W

取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

● ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●**器具を改造しない。**火災・感電の原因となります。
●**万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用しない。**
火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
●**アルカリ系洗剤は使用しない。**強度低下による破損の原因となります。

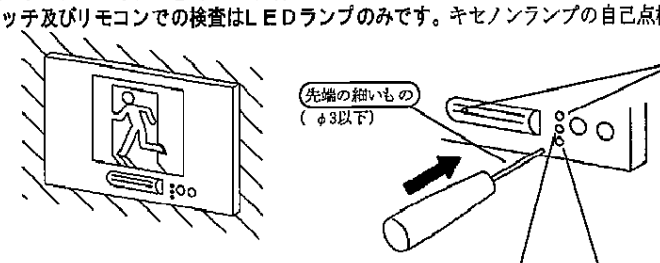
⚠注意

●**カセット式ランプは絶対に分解しないでください。**感電の原因となります。
●**内蔵部品ケースは絶対に外さないでください。**感電の原因となります。
●**蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。**破裂する危険があります。
●**蓄電池は絶対に分解しないでください。**感電・やけどの原因となります。蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
●**蓄電池のショートは絶対にさけてください。**火災・破裂・感電・やけどの原因となります。
●**照明器具には寿命があります※1。3～5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。**放置すると、火災の原因となることがあります。

※1　照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し蓄電池は、4～6年です。

使用上のご注意

・長時間器具を使用しない場合は、蓄電池をはずして保管してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
・ランプ交換後はリセットスイッチを2秒以上長押ししてください。ランプ寿命誤診断の原因となります。
・自己点検スイッチ及びリモコンでの検査はＬＥＤランプのみです。キセノンランプの自己点検は行えません。



ＬＥＤ用充電モニタ（緑）・キセノン用充電モニタ（緑）

蓄電池の充電がなされているか確認できます。	緑色点灯	正常です
	消灯	蓄電池が充電されていません。非常点灯になっていないか、または、蓄電池コネクタがはずれていないかを確認してください。
	緑色点滅（LED用のみ）	蓄電池の交換時期の目安です。蓄電池の容量低下を緑色点滅でお知らせします。
リモコンの確認スイッチを押した場合	1秒間点滅（4回）（LED用のみ）	点検可能（24時間以上充電されている）

ランプモニタ（赤）

ランプの交換時期や異常などをお知らせするものです。	消灯	正常です
	赤色点灯	ランプまたはランプの接続に異常が発生しています。
	赤色点滅	ランプの交換時期の目安です。ランプの点灯時間をカウントし、約6年半で赤色点滅でお知らせします。
リモコンの確認スイッチを押した場合	1秒間点滅（4回）	点検不可（充電時間不足）

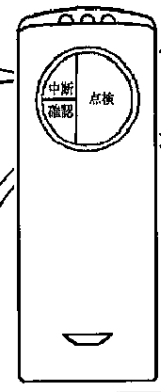
自己点検スイッチ

・蓄電池の容量確認検査が行えます。
（判定に一般定格型は20分、長時間定格型は60分かかります）
・先の細い（φ3以下）物で2秒以上押すと検査を開始します。
（充電モニタが消灯します。検査終了後は自動的に復帰します。）
・自己点検スイッチの動作には、24時間以上充電が必要となります。
（24時間以内に、3秒以上の非常点灯があった場合は動作しません。）

（注）ランプモニタが点滅しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

自己点検用リモコンについて　適合リモコン品番：FSK90910K（別売）

スイッチ各部の名称と働き



チャンネル
使用時、チャンネルは「１」にセットして下さい。
（チャンネルの「２」は非常灯用です。）

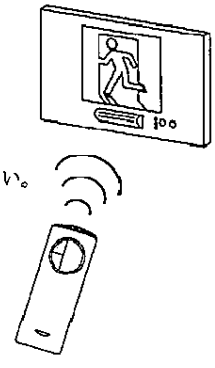
中断スイッチ
点検動作を中断し、常用点灯に復帰させるときに使用します。
注）中断させると再度、24時間以上充電しないと点検できません。

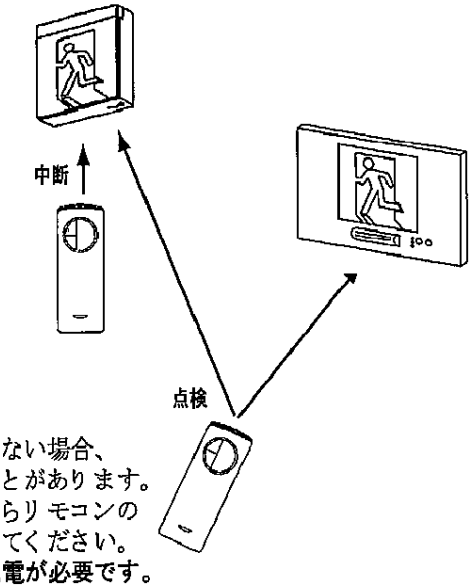
点検スイッチ
定格時間の非常点灯確認を開始します。
（器具本体の自己点検スイッチを押したときも同様です。）

確認スイッチ
誘導灯器具が24時間の充電が完了しているかを確認するときに使用します。

リモコン操作エリアについて

・リモコンを操作するときは、
点検する器具の近傍から、
リモコンを器具に向けて送信してください。





器具の近傍からリモコンを操作しない場合、
隣接する器具も受信してしまうことがあります。
その際は、隣接する器具の近傍からリモコンの
中断ボタンを押して点検を中断してください。
※中断した場合は、再度24時間充電が必要です。

使用上のご注意（ 続き ）

リモコンによる点検方法

・チャンネルを「１」に、セットしてください。

１．リモコンの確認スイッチを押し、器具本体のモニタを確認する。
・充電モニタ（ 緑） が1 秒間点滅（ 4回） ⇒点検準備が出来ています。２．に進んでください。
・ランプモニタ（ 赤） が1 秒間点滅（ 4回） ⇒点検準備が出来ていません。24時間以上充電してください。

２．リモコンの点検スイッチを押し、器具本体のモニタを確認する。
・充電モニタ（ 緑） が消灯（ 非常点灯に切り換わります） ⇒３．に進んでください。

３．蓄電池の容量確認を、器具本体のモニタで確認する。
（ 判定に、一般定格型の場合最大20分、長時間定格型の場合最大60分かかります）
・充電モニタ（ 緑） が点灯 ⇒ 正常です。
・充電モニタ（ 緑） が点滅 ⇒ 蓄電池の交換時期です。

※ 途中で点検を中断する場合
リモコンの中断スイッチを押し、器具本体のモニタを確認してください。
・充電モニタ（ 緑） が点灯（ 通常状態に戻ります）

リモコンスイッチと器具状態の対応表

	器具の状態		
	充電中 （ 充電時間24時間未満）	充電完了状態 （ 充電時間24時間以上）	点検中
点検スイッチ	― （ 充電モニタ（ 緑） 約0.5秒消灯し点灯 に戻ります。）	点検開始 （ 充電モニタ（ 緑） 点灯⇒消灯）	― （ 充電モニタ（ 緑） 消灯したまま）
中断スイッチ	― （ 充電モニタ（ 緑） 点灯したまま）	― （ 充電モニタ（ 緑） 点灯したまま）	点検中断 （ 充電モニタ（ 緑） 消灯⇒点灯）
確認スイッチ	ランプモニタ（ 赤） １秒間点滅（ 4回）	充電モニタ（ 緑） １秒間点滅（ 4回）	― （ 充電モニタ（ 緑） 消灯したまま）

―― の場合は充電モニタ・ランプモニタの状態に変化はありません。

保証について

●保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。ランプ・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
●保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
●補修用性能部品について
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・部品交換

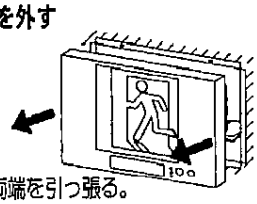
・器具の清掃について・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。**変色・変質、強度低下による破損の原因となります。**
・表示板の交換について・・・長期使用により、表示効果が低下(変色・退色)した場合は表示板を交換してください。
・ランプの交換について・・・ランプモニタが赤色点滅するとランプの交換時期です。(通電60000時間後)
(注)ランプモニタが点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色等の場合はランプを交換してください。

ランプの交換方法

下図を参照のうえ確実におこなってください。（通電状態で行ってください。）

交換部品	カセット式ランプ(パナソニック製ランプをご使用ください。)	品番：FK91220

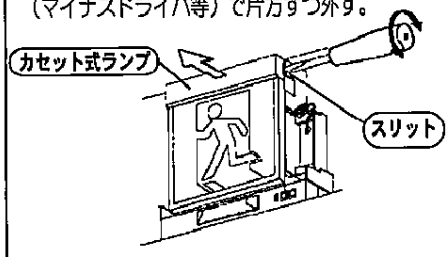
1. プレートを外す



プレートの両端を引っ張る。

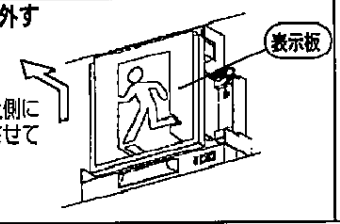
2. カセット式ランプを外す。

カセット式ランプを工具
（マイナスドライバ等）で片方ずつ外す。



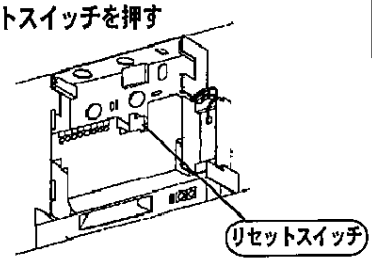
スリットに工具を押し当ててひねりながら外す
（注）必ず左右とも工具にて外してください。
無理に引き抜くと破損の恐れがあります。

3. 表示板を外す



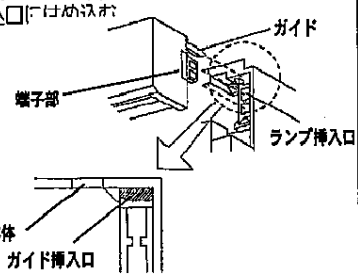
表示板を上側に
スライドさせて
取り外す

4. リセットスイッチを押す



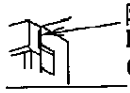
6. 新しいカセット式ランプを取付ける

1. カセット式ランプを本体の
ランプ差込口にはめ込む



注1）カセット式ランプ端子部を持たないこと
注2）ガイドをガイド挿入口に入れながら
カセット式ランプをはめ込む

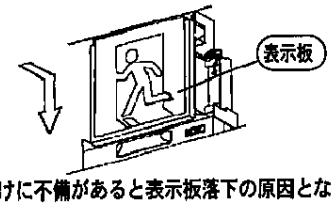
2. カセット式ランプをカチッと
音がする奥の位置まで押し込む



隙間ができないよう奥まで押し込む
取付けに不備があるとカセット式ランプ
の落下の原因となります。

5. 表示板を取付ける

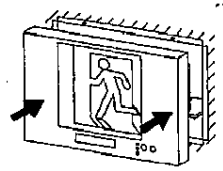
1. 表示板のツメが本体のツメ(4カ所)の上側に
くるように合わせる。
2. 表示板を下側にスライドさせて取付ける。



取付けに不備があると表示板落下の原因となります。

7. プレートの取付

プレートを本体に確実にはめ込む。

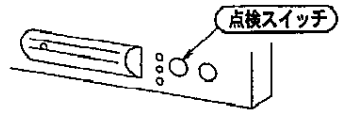


（注）コネクタや電線を
はさまないように
取付けてください。

取付けに不備があるとプレート落下の原因となります。

8. 点検スイッチを押す。

点検スイッチを押し、非常点灯を確認する



お手入れ・部品交換（続き）

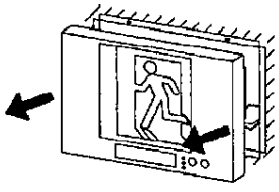
蓄電池の交換方法

２４時間以上充電しても２０分間（長時間定格型は６０分）非常点灯しない場合は、蓄電池を交換してください。

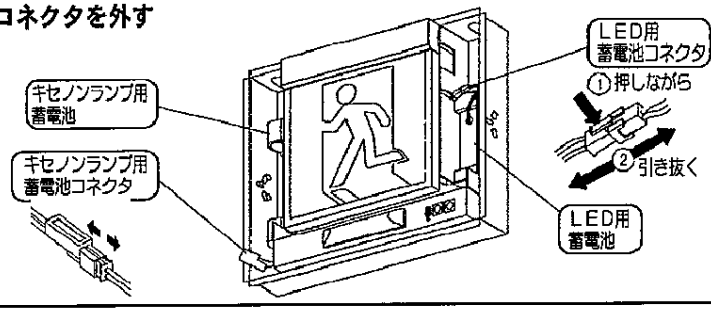
交換部品				
蓄電池	一般定格型	ＬＥＤ用	FK731（2.4V　700mAh）
		キセノン用	FK646（3.6V 2500mAh）
	長時間定格型	ＬＥＤ用	FK736（3.6V　700mAh）
		キセノン用	FK648（7.2V 2500mAh）

1. プレートを外す

・プレートの両端を引っ張る。

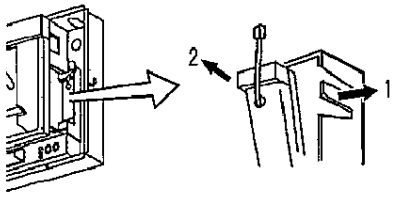


2. 蓄電池コネクタを外す

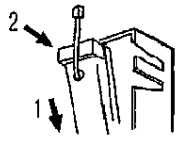


3. 蓄電池の交換・コネクタの接続

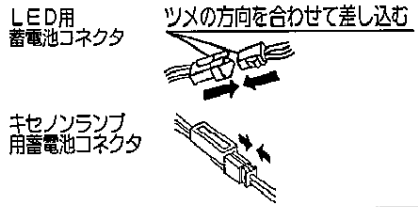
・蓄電池を交換する。
（ＬＥＤ用蓄電池）
①ツメ部を広げ、蓄電池を引き出す。



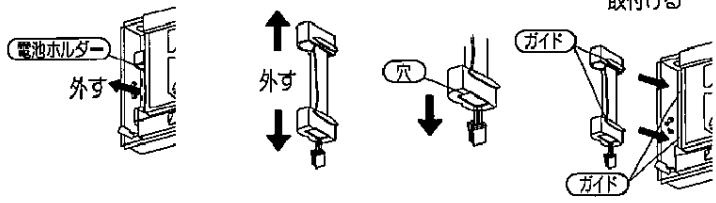
②新しい蓄電池を
本体に差し込み、取り付ける



・蓄電池コネクタを確実に接続する。
接続が不完全な場合、非常点灯不点灯の原因となります。

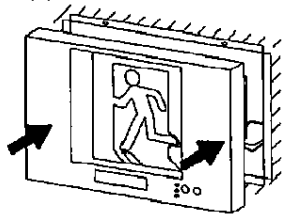


（キセノンランプ用蓄電池）＜図は一般定格型の場合＞
①電池ホルダーを外す。 ②蓄電池を交換する。 ③蓄電池コネクタを電池ホルダーの穴に通す。 ④電池ホルダーのガイドと本体のガイドを合わせて取付ける



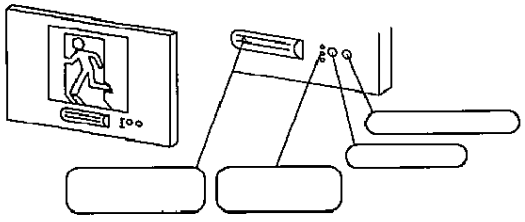
4. プレートの取付

・プレートを本体に確実にはめ込む。
取付けに不備があると枠落下の原因となります。



注）コネクタや電線をはさまないように取付けてください。

6. 非常点灯・非常点滅確認



①電源通電状態で点検スイッチを押し、非常点灯を確認する。
（点検中、ＬＥＤ用充電モニタは消灯）
（注）点検スイッチを押さないと点灯しません。

②電源通電状態で点滅確認スイッチを押し、キセノン点滅を確認する。
（点検中、キセノン用充電モニタは消灯）

正常に動作しない場合は（故障かな？と思ったときは）を参照してください。

○定期点検　3ヶ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
6ヶ月に1回は、必ず非常点灯持続時間が20分以上（長時間定格型は60分以上）持続すること、
切替動作などの機能点検も合わせておこなってください。（点検については、消防庁告示第3号および第14号に定められています。）

○設置年月日　年　月　日　　○取付場所　　○器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな？と思ったときは

・表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現　象	考えられる原因	処　置
ランプが点灯しない	出力停止モードになっている	点検スイッチを押す
	ランプが外れている	ランプを確実に接続して点検スイッチを押す
	信号装置の手動スイッチが消灯側になっている	点灯側にする
表示面が暗い	周囲温度が、5～35℃の範囲外である	5℃以下の場合暗くなる
	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている	点検スイッチの引っ掛かりを直す
充電モニタが点灯しない	蓄電池コネクタが外れている	蓄電池コネクタを確実に接続する
	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている	点検スイッチの引っ掛かりを直す
ランプモニタが点滅している	ランプの寿命である。	ランプを交換して、リセットスイッチを押す。
	ランプ交換後リセットスイッチを押していない	ランプ交換後は、リセットスイッチを押す
ランプモニタが点灯している	ランプが外れている	ランプを確実に接続して点検スイッチを押す
	ランプが破損している	ランプを交換して、リセットスイッチを押す
非常点灯しない 短時間しか点灯しない ●一般型：20分未満 ●長時間定格型：60分未満	蓄電池コネクタが外れている	蓄電池コネクタを確実に接続する
	蓄電池の充電不足である	24時間以上充電する
	蓄電池の寿命である	蓄電池を交換する
点滅動作がとまらない ●一般型：20分未満 ●長時間定格型：60分未満	誘導灯用信号装置の操作方法の間違い	誘導灯用信号装置の取扱説明書を参照する
	配線が間違っている、緩んでいる	誘導灯用信号装置と器具の間、器具内の配線を正常化する（中継盤は介さない）
	信号線の電圧降下が大きすぎる	電圧降下10%までに抑える
	制御する器具の台数が多すぎる	システムの再構築（カタログ等参照）
	点滅確認スイッチが押された状態になっている	点滅確認スイッチの引っ掛かりを直す
点滅動作しない 短時間しか動作しない	蓄電池コネクタが外れている	コネクタを接続する
	蓄電池の充電不足(保管時の自然放電や施工時の放電など)	24時間以上充電する
	蓄電池の寿命	蓄電池を交換する
	誘導灯用信号装置の操作方法の間違い	誘導灯用信号装置の取扱説明書を参照する
	配線が間違っている、緩んでいる	誘導灯用信号装置と器具の間、器具内の結線を正常化する（中継盤は介さない）
	誘導灯用煙感知器により停止状態になっている	誘導灯用煙感知器の接点が開放状態になるようにする
非常点灯中に点灯後突然消える ●一般型：20分以上点灯後 ●長時間定格型：60分以上点灯後	蓄電池の過放電を防止するため、 ある電圧までさがると消灯します。正常な動作です。	
自己点検スイッチが動作しない	2秒以上押していない	24時間以上充電する
	24時間以上充電していない	
	24時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった	
	24時間以内に電池コネクタを外した	
リモコンの点検スイッチが 動作しない	24時間以上充電していない	24時間以上充電する
	24時間以内に3秒以上の停電があった	
	24時間以内に電池コネクタを外した	

Ni-MH　この器具には、ニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ニッケル水素電池の交換、およびご使用済製品の廃棄に際してはニッケル水素電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。

Ni-Cd　この器具には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ニカド電池の交換、およびご使用済製品の廃棄に際してはニカド電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。

KE0310-030112

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）0120-878-236（FAX）